

# 静岡市における 気候変動適応への取組について

令和2年2月14日（金）

気候変動適応関東広域協議会 第3回協議会

静岡市 環境局 環境創造課



## 現状の取組について

2

第2次静岡市地球温暖化対策実行計画策定（平成28年3月）



法定計画として位置づけ



更に具体的な施策を整理するために…



「静岡市気候変動適応策アクションプラン」を策定・公表（令和2年3月予定）

【これまでの経緯及び今後の予定】

- 平成29年 第1回 適応策**府内勉強会** 開催（対象課： 33課）
  - 関係各課に適応策関連施策の照会・整理
- 平成30年 第2回 府内適応策**府内勉強会** 開催（対象課： 115課）
- **令和元年 第1回 府内担当者会議 開催** （対象課： 20課）
  - 関係課26課にヒアリング（済）
  - 本市の重点的政策における適応策関連施策の位置づけについて確認（済）
  - 第2回 府内担当者会議 開催
  - 「静岡市気候変動適応策アクションプラン(案)」の確認



（平成30年 第2回 適応策府内勉強会の様子）

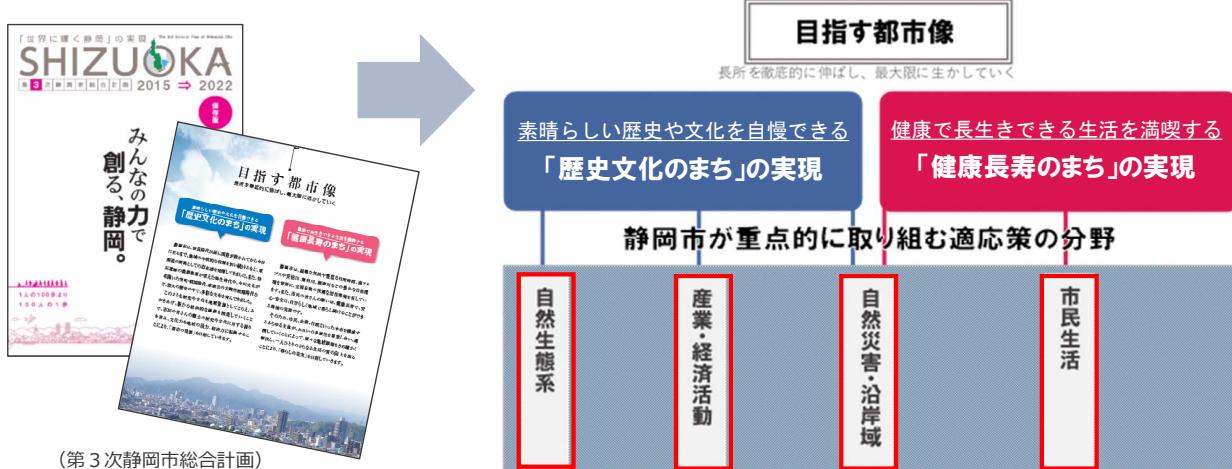


# 本市で重点的に取り組む適応策

## 基本的な考え方

主な施策については、  
年に一度進捗管理を実施予定

- ① 第3次静岡市総合計画で「目指す都市像」として掲げる、  
**「歴史文化のまち」づくりと「健康長寿のまち」づくりに特に関連する適応策を  
重点的に進めていく**ことで、本市独自の戦略的な適応策に取組む
- ② **本市の豊かな自然及び市民生活を守ることを第一**に、長期的な視点での適応策に取組む



## 【分野別】 適応策の取組例



### <農林水産業>

- ・農業全般において、高温少雨・台風など気象災害が発生する恐れがある場合の対応技術の広報
- ・林道の整備、復旧
- ・溶融スラグを活用した藻場造成の実施
- ・漁場の環境調査



### <産業・経済活動>

- ・三保松原の保全事業
- ・松くい虫防除事業
- ・文化財（建造物）の台風等被害対策
- ・災害時、外国人を含む観光客の安全確保が図られるよう、観光施設で外国人にもわかる避難誘導の掲示



### <水環境・水資源>

- ・水質モニタリング事業
- ・取水制限
- ・他都市との災害時相互応援協定
- ・渴水対策マニュアル
- ・水の相互運用
- ・水源涵養林の整備



### <市民生活>

- ・街路樹の維持管理
- ・消防バスの設置
- ・透水・保水性舗装の実証実験
- ・イベントやラジオにて熱中症予防について普及啓発
- ・感染症予防事業
- ・蚊の生息状況モニタリング



### <自然生態系>

- ・高山植物保護セミナーの開催
- ・防鹿柵の設置
- ・外来種の適正管理事業
- ・外来種の分布確認
- ・ライチョウワーカー養成講座の開催



### <自然災害>

- ・国土強靭化計画に基づく各事業の推進
- ・強靭な道路ネットワーク（緊急輸送路）の構築
- ・洪水ハザードマップ、浸水ひなん地図の公表
- ・雨水流出抑制対策事業
- ・静岡市道路通行規制情報「しづみちinfo」による冠水情報等の公開
- ・法対面対策
- ・文化財（建造物）の台風等被害対策
- ・災害時の復旧協定
- ・三保松原の保全事業

### 今後、各施策とSDGsの関連付けを予定

#### 持続可能な開発目標（S D G s）



# SDGsと適応策の関係

5



SDGs未来都市選定証 SDGs未来都市選定証授与式（首相官邸にて）

平成30年6月には、特に持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市として、「SDGs未来都市」に選定される。また、本市の取組が国連からも評価され、アジアで唯一の「ハブ都市」にも選定される。



単にSDGs各ゴールの取組を進めるだけでなく、  
**「経済」、「社会」、「環境」の三側面の課題を総合的に解決するための広い視点で取り組む**ことで、高い相乗効果を創出し、持続可能な開発の実現を目指していく。

# 実施している適応策【農林水産業】

6

## 溶融スラグを活用した藻場造成の実施



肥料としても活用可能



(協力：株式会社エヌジェイ・エコサービス  
日鉄エンジニアリング株式会社、  
国立大学法人静岡大学ほか)

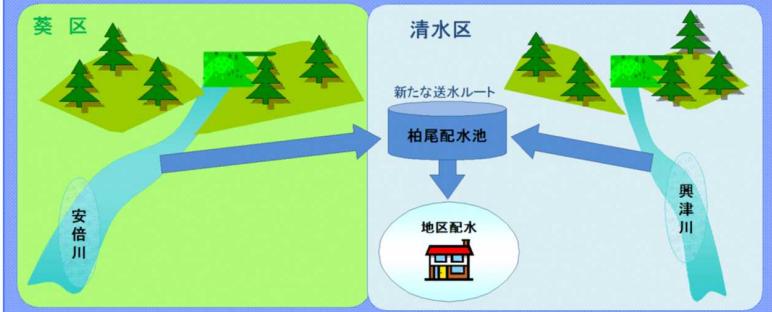
J A 静岡市、J A しみずの協力により市場調査用の溶融スラグ肥料をH30.1より市内の水稻農家へ配布

# 実施している適応策【水環境・水資源/自然生態系】

## 水の相互運用（北部ルート事業イメージ図）



R2年2月完成



## 高山植物保護セミナーの開催、防鹿柵の設置



その他、ライチョウ生息状況調査等も実施

# 実施している/予定の適応策【自然災害】

## 文化財（建造物）の台風等被害対策（R2年度実施予定）



## 三保松原の保全事業



台風19号による松への被害の様子

土壤改良の施工状況

老齢大木への支柱の敷設

# 実施している適応策【市民生活】

**消防バス**



H28.7から開始



**打ち水**

参加企業・団体数 18社  
イベント参加人数 約500名

熱中症の危険を音声でお知らせする警報機



**産学官民連携**

**官民連携での適応ビジネス**

【平成31年度熱中症予防対策ガイダンス策定に係る実証事業（環境省）】により実施

環境学習ツアーでも活用

透水・保水性舗装  
実証実験の様子

# 抱えている課題・今後の展望



**①市レベルで取り組める適応策の限界  
→分野ごとに偏りがある**



**②適応策としての深堀りの難しさ  
→適応策の多くが既存施策の延長である**



**③適応策の進捗管理  
→指標設定と評価の難しさ**



**④適応センターの設置  
→検討中**

R2年度 作成予定



適応策の普及啓発の一つとして、  
市民向けの**適応策ハンドブック**を作成